

## 礼拝メッセージ (10月28日)

『自らを知る』～あなたは自分がわかっていますか?～ 【ハブル4:12~16,エペソ6:11~18】

あなたは自分を本当に理解できていますか?自分で自分の弱さを知っていなければどんなに自分をガードしても意味がありません。私達は自分の弱さを知る事で強くなれます。しかし強くする場所を間違えているのでは良い物を受け取る事はできません。上辺だけを着飾るような人生では自分の本来の姿を見失ってしまいます。そうならない為にも私達は自らを知っておく必要があります。自らを知る為に①**裸になる**。いらない鎧を着ていませんか?自らの本心を知ろうとしていないのではないですか?神は私達の弱さを責めたりはしません。まずいらない物を脱ぎ捨て裸になり自分を見つめ直す必要があります。②**弱さを知る**。①裸になった時点で自分の弱さを見つめて下さい。私達はすぐに自分に言い訳をしたり人の意見を気にしたりしてしまいます。しかし、あなたの幸せを願ってもない人の意見があなたの何のプラスになるでしょう?そんな人の意見は関係ありません。そんな意見を気にするより、あなたの事を真剣に思ってくれてくれる人の意見に耳を傾けましょう。例えそれが自分にとって厳しい意見であったとしても、自分の弱さを示してくれる人がいるならその意見には耳を傾けるべきです。神は人を通してあなたに語られるからです。人から語られる時、本当に自分の為に言ってくれているのか見分けてみましょう。③**神の武具を心に**。i 真理の帯を腰に締める。「腰」はあなたの内側を示します。あなたの内側を嘘偽りのない姿に締めなおさなければなりません。ii 正義の胸当て。正義の為に物事を行えているでしょうか。相手に何かをする時、自分の得のためではなく、相手の為に正義を行って下さい。iii 平和の福音を備える。あなたが神にどれだけ愛されているかを知って下さい。それを知ることはどんな鎧にも勝ります。iv 信仰の大盾。色々な事に右往左往している場合ではありません。あなたを中傷するような言葉を使う人があなたの人生に責任を負ってくれるのでしょうか?負ってはくれません。そうしてくれない世の中に振り回されるのは知恵がないだけです。v 御言葉の剣。神の言葉は私達を訓練するのに有益な言葉です。あなたを不安にさせたり焦らせたりするような言葉は神の御言葉で蹴散らしましょう。vi 救いのかぶとをかぶる。あなたは既に神によって救われている事を確信して下さい。私達には天の御国が用意されているのです。i~viの武具をきちんと身に着けているでしょうか。弱くなっているところはありませんか?弱くなっている武具があるのならもう一度しっかりと持ち直しましょう。④**弱さを補い合う**。私達は弱さを補い合う友です。ですから、友の弱さが出ている時、叱責してあげましょう。教会は甘い所ではありません。教会の家族は神様が私達の為に用意して下さった愛の家族です。厳しい言葉も愛の言葉も言い合える関係が素晴らしいのです。あなたの弱さを知り、友の弱さを知り、共に正義の為に歩みましょう。「弱いものでも強いといえる」信仰を受け取りましょう!